

平成 23 年 6 月 14 日

関 係 各 位

拝啓

この度の東日本大地震・大津波および原発事故を抱え、ご多忙な日々をお過ごしのこととお察し申し上げます。

さて、予てよりお話し致しておりました講演会を、吉村和就先生をお招きし、下記要領にて開催する段取りとなりました。ご案内申し上げます。

被災地の上・下水道等のインフラ施設は相当のダメージを受け、声高に叫ばれてきた「技術立国日本」も鳴りを潜め、技術面での信頼度に変化が出ているのだろうか。率直な疑問を抱く次第です。そのような中、行政的中枢にて重要な舵取り役として日夜ご奮闘されている吉村和就先生からお話をお伺いすることは有意義なことと考えております。

この度は、大津波による上下水道の被害状況と復興・復旧対策を通して、水産業の将来像・新しい国作りなど、今、何が求められているか。示唆に富んだお話が戴けるものと存じます。また、第一福島、6号機の水処理施設に係られていた吉村先生ならではのお話も伺えるものと存じます。

広くお誘い合わせのうえ、多数ご参集下さいますようご案内申し上げます。なお、多くの方々のご参加が可能なように、広い会場を用意してお待ち申し上げます。

敬具

記

演 題：「すべて水の姿となって現れた大震災以後の日本」

＜内容＞

- ・大津波による上下水道の被害状況と復興・復旧対策
- ・原発の冷却水喪失による放射能汚染とその汚染水対策
- ・新しい国作りへの提案

講 師：グローバルウォータ・ジャパン代表 吉村和就 氏

日 時：平成 23 年 6 月 14 日 14：30～16：00

場 所：千葉工業大学（JR 津田沼駅下車徒歩 4 分）（会場は調整中）

参加料：無料

連絡先：瀧 和夫（千葉工業大学 工学部 生命環境科学科）

（TEL/FAX: 047-478-0452, E-mail: taki.kazuo@it-chiba.ac.jp）

参加ご希望の方は、6月10日（金）までに上記メールへお申し込み下さいますよう、よろしくお願い致します。

以上